



学校だより 第8号

風の子 太陽の子

浜松市立相生小学校

令和6年10月2日

4月18日(木)に6年生が実施した令和6年度の全国学力学習状況調査の結果が報告されました。本校の結果についてお知らせします。この結果を今後の教育活動に生かしていきます。6年生以外の保護者の皆様も、現在の相生小の学びについて、日本の教育で求められている力について関心を持っていただければと思います。

【国語科】・・・全国平均より高い正答率であった。

全国と比べ正答率が高かったのは、**2三**「文章の下線部の言葉を、漢字を使って書き表す。」問題、**2二**「文章の空欄部分に入る内容を、取材メモを基にして書く。」問題であった。本校は3年前より毎週木曜日の朝学習で漢字テストや計算テストなどの基礎基本を定着させるための学習を行ってきた。漢字を読めるだけでなく、書けるように学習を進めてきた成果と言える。また、日々の学習で、課題に対し自分の考えを書く活動に力を入れて指導をしてきたので、書くことに抵抗なくメモを基に条件に沿って100文字程度の文章を書くことができたと思われる。この問題の無回答率が全国平均より低かったことも評価できる。

《全国と比べ正答率が高かった問題》**2三**、**2二**

2三 下線部を漢字で書く。 アきょうぎの作戦をかんがえたりします。 上級生が遠くからボールをイなげる。

2二

※上の原稿用紙は下書き用なので、使っても使わなくてもかまいません。
解答は、解答用紙に書きましょう。
※◆の印から書きましょう。どちらうで行を変えないで、続けて書きましょう。

【高山さんの文章】の空欄に入る内容を「高山さんの取材メモ」を基にして書く。

正答率(%)

本校	静岡県(公立)	全国(公立)
67.0	57.5	56.6

○ ○ ○ (条件)
「たてわり遊び」のよきについて考えたことを書くこと。
「高山さんの取材メモ」の下級生に聞いたことから言葉や文を取り上げて書くこと。
六十文字以上、百字以内にまとめて書くこと。

【高山さんの文章】

みんな仲良し「たてわりはん」
わたしたちの学校には、1年生から6年生までのメンバーが、同じはんで活動する「たてわりはん」の取り組みがあります。「運動会」や「たてわり遊び」を通して、ちがう学年の人とも仲良くなります。
「運動会」は、「たてわりはん」ごとに赤、青、黄の色を決め、3色対こうで行います。上級生が下級生に伝えの仕方を教えたり、下級生も楽しめるように、アきょうぎの作戦を考えたりします。「みんなでつな引きをして楽しい」という2年生や、「下級生といっしょに伝えんして熱い気持ちになる」という5年生がいます。このように、「運動会」のよいところは、みんなの心が一つになるところだと思います。

「たてわり遊び」は、毎月1回、休み時間に「たてわりはん」で遊ぶ活動です。みんなが楽しめるように、6年生が、遊びたいことを下級生に聞いたり、ルールをくふうしたりします。例えば、ドッジボールでは、上級生が遠くからボールをイなげるようにしています。

【高山さんの取材メモ】

「たてわり遊び」について
6年生がくふうしていること
○遊びたいことを下級生に聞く
○ルールをくふうする
ドッジボール 上級生は遠くからボールをなげる
下級生に聞いたこと
○1年生 お兄さんやお姉さんと遊べて楽しかった
○3年生 好きな遊びや新しい友達が増えた
○4年生 みんなが楽しそうでうれしかった

二 高山さんは、次の「高山さんの文章」の空欄に、「高山さんの取材メモ」をもとにして考えた「たてわり遊び」のよきを書こうとしています。あなたが高山さんなら、内容をどのように書きますか。あとの条件に合わせて書きましょう。

【算数科】・・・全国平均より高い正答率であった。

正答率が高かったのは、**3**(3)「直径22cmのボールがぴったり入る箱の体積を求める式を書く」問題と**5**(3)「折れ線グラフから開花日の月について、3月の回数と4月の回数違いが最も大きい年代を読み取り、その年代について3月の回数と4月の回数の違いを書く」問題であった。

正答率が低かったのは、**4**(1)「 $540 \div 0.6$ を計算する」問題であった。

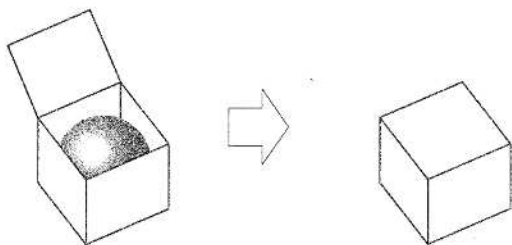
《全国と比べ正答率が高かった問題》 ③ (3)、⑤ (3)

③ (3)

(3) 直径 22 cm の球の形をしたボールがあります。



このボールがぴったり入る立方体の形をした紙の箱の体積を調べます。



この立方体の形をした紙の箱の体積が何 cm^3 かを求める式を書きましょう。
ただし、紙の厚さは考えないものとします。また、計算の答えを書く必要はありません。

直径 22 cm のボールがぴったり入る箱の体積を求める式を書く

正答率 (%)

本校	静岡県 (公立)	全国 (公立)
50.6	36.6	36.5

折れ線グラフから開花日の月について、3月の回数と4月の回数違いが最も大きい年代を読み取り、その年代について3月の回数と4月の回数の違いを書く

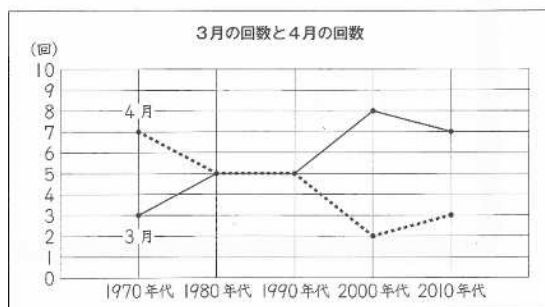
正答率 (%)

本校	静岡県 (公立)	全国 (公立)
57.3	43.0	44.0

⑤ (3)

(3) こうたさんは、1970年代から2010年代について、C市の桜の開花日の月を調べました。すると、1970年代以降は、開花日の月が3月と4月のどちらかであることがわかりました。

そこで、開花日の月について、各年代の3月の回数と4月の回数を、下のよう折れ線グラフに表しました。



《全国と比べ正答率が低かった問題》 ④ (1)

家から学校までの歩数は、 $540 \div 0.6$ の式で求めることができます。 $540 \div 0.6$ を計算しましょう。

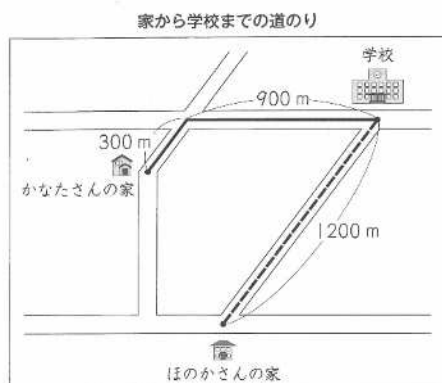
除数が小数である場合の除法の計算をすることができるかどうかをみる。

正答率 (%)

本校	静岡県 (公立)	全国 (公立)
64.0	67.0	70.1

《全国的に正答率が低かった問題》 ④ (3)

(3) かなたさんとほのかさんは、それぞれの家から学校まで歩いて行きました。



家から学校までの道のりは、上の図のとおりです。

家から学校まで、かなたさんは20分間、ほのかさんは24分かかりました。

それぞれの家から学校までの歩く速さを比べると、かなたさんとほのかさんのどちらが速いですか。

下の 1 と 2 から選んで、その番号を書きましょう。

また、その番号を選んだわけを、言葉や数を使って書きましょう。

1 かなたさん

2 ほのかさん

道のりが等しい場合の速さについて時間を基に判断し、その理由を言葉や数を用いて記述することができるかどうかをみる。

正答率 (%)

本校	静岡県 (公立)	全国 (公立)
33.7	28.6	31.0

【児童質問紙】

◎…全国よりよい表れが出ている設問 △…全国よりやや落ちている設問

設 問	当てはまる・どちらかといえば当てはまる	
	本 校	全 国
◎自分にはよいところがあると思いますか。	88.6%	84.1%
◎学校に行くのは楽しいと思いますか。	88.7%	84.8%
◎自分と違う意見について考えるのは、楽しいと思いますか。	80.7%	75.8%
◎分からないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することはできていますか。	84.1%	80.7%
◎学校の授業時間以外に普段（月～金）1日当たりどれくらいの勉強をしますか。 【1時間以上と答えた児童の割合】	64.8%	54.8%
◎5年生までに受けた授業でICT機器を週3回以上使用していた。	94.3%	59.5%
◎5年生までの学習の中で、PCタブレットなどのITC機器を使用することについて次のことは、あなたにどれくらい当てはまりますか。 ・自分のペースで理解しながら学習を進めることができる。 ・楽しみながら学習を進めることができる。 ・友達と協力しながら学習を進めることができる。	95.4% 94.3% 95.5%	85.5% 86.0% 87.1%
◎5年生までに受けた授業では、課題の解決に向けて自分で考え、自分から取り組んでいましたか。	86.4%	81.9%
◎授業で学んだことを次の学習や実生活に結びつけて考えたり生かしたりすることができると思いますか。	86.4%	83.7%
◎国語の勉強は好きですか。	71.6%	62.0%
◎国語の授業で、言葉には相手との好ましい関係をつくる働きがあることを学んでいますか。	91.0%	83.9%
◎算数の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか。	97.8%	94.1%
◎算数の問題が解けたとき、別の解き方を考えようとしていますか。	69.3%	63.6%
◎英語の勉強は好きですか。	84.0%	69.3%
△学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり広めたりすることができていますか。	78.4%	86.3%
△5年生までに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるように資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表していましたか。	60.7%	63.7%
△国語の授業で、目的に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするなど自分の考えが伝わるように工夫して文章を書いていますか。	78.5%	83.1%
△算数の授業の内容はよく分かりますか。	77.2%	82.1%

【今後の取り組み】

○正答率の低かった問題を中心にもう一度やり直し、定着を図る。

○「主体的・対話的で深い学び」の実現ために授業改善をする。

- ・国語…今後も引き続き、学習の意欲を高め、主体的に学習に取り組んでいけるように、自分で学習課題や課題解決の方法を選択したり、協働的に学んだりできる場面を設定する。そして、振り返りの場면을確実に設定し、学習したことを確かめて自分の学びを実感できる活動を行う。

漢字の読み・書きの力を継続して高めていくために、毎週木曜日のミニテストを目標にした1週間の学習計画を一層充実させていく。

条件に応じて作文する問題の正答率が高かったが、工夫して文章を書いている意識は低かった。今後は、授業のまとめや自分の考えをかく場面、振り返り日記（あしあとノート）を書く際に、漢字・語句を正しく使用し、表現や構成を工夫して書くことを意識できる指導をする。

学級やグループで話し合いをすること、交流することの意義は感じているが、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるように資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表することに苦手意識を持っている児童がいるので、話す技術が向上するような授業の組み立てを意識して行っていく。

- ・算数…持っている知識を生かして思考し、問題解決することができていた。日々の授業で、「なぜその考え方や答えになるのか」「どのように公式が成り立っているのか」と本質を捉え、算数用語を活用して説明する活動を大切に授業を行ってきた成果と言える。

今後も個に応じた指導及び問題解決に向けた取り組みを言語化する活動を充実させる。また、日常生活に密着した学習課題を設定するなど、算数の学習の必要性を感じ取ることのできる授業構成にする。

一方で、わり算を中心とした四則計算の正確性に課題があることが分かった。基本的な問題を復習し、計算問題を練習する機会を増やすことで、確実に計算力を高めていく。

○ 総合的な学習の時間での探究的な学びができていたり、課題の解決に向け、自分から取り組んだりするなど、主体的に学習する姿が見られる。今後とも児童の興味や関心に応じたテーマで、総合的な学習の時間の学びを充実させていきたい。

○ 各教科で学んだことを生かし、自分の考えをまとめることができていたり、他の授業でも学んだことを生かしていたりする結果が出ている。これからも、キャリア教育の視点を基に学習していることが未来の生活に結び付いていることを常に意識ができるような指導をする。

○ コミュニティスクールを有効に活用したり、家庭と協力したりして、学習・生活の充実を図らせると共に、より一層地域社会との連携を深める。

○ 英語が好きと答えた児童が全国平均より多かった。6年生については、昨年度より教科担任制で外国語の指導を行っており、その成果が表れている。今後もALTと連携しながら英語学習の楽しさや今の学習が将来どうつながるかを伝えて、英語学習により意欲がもてるようにしていきたい。